クローン病が寛解した
１４才女子のケース

JPHMA会長＆認定ホメオパス
日本ホメオパシーセンター島根安来“CuZen！”
道繁 良

©道繁 良＆JPHMA

主訴

- クローン病（胃、小腸、十二指腸、大腸に病変、狭窄もあり）
- 薬の副作用が心配（抜け毛が起きている）
- 薬と食事制限（脂質・食物繊維）をやめたい
- 花粉症、年中何かのアレルギー
- ストレスを感じやすい

2023年7月 入院時

身長　151cm

体重　25kg

ローレル指数　73

標準体重－19. 8kg

©道繁 良＆JPHMA

服薬

- イムラン　免疫抑制
- ペンタサ　炎症を抑える
- ヒュミラ　　炎症を抑える

- エレンタール　栄養剤

イムランの副作用　フォント18

主な副作用

下痢 、発疹 、血管炎 、過敏症 、腎機能障害 、膵炎 、食欲不振 、悪心 、嘔吐 、心悸亢進 、全身倦怠感

重大な副作用

血液障害 、再生不良性貧血 、貧血 、汎血球減少 、巨赤芽球性貧血 、赤血球形成不全 、無顆粒球症 、血小板減少 、出血 、ショック様症状 、悪寒 、戦慄 、血圧降下 、肝機能障害 、黄疸 、悪性新生物 、悪性リンパ腫 、皮膚癌 、肉腫 、子宮頸癌 、急性骨髄性白血病 、骨髄異形成症候群 、感染症 、肺炎 、敗血症 、B型肝炎ウイルス再活性化による肝炎 、C型肝炎悪化 、間質性肺炎 、発熱 、咳嗽 、呼吸困難 、捻髪音 、胸部X線異常 、動脈血酸素分圧低下 、重度下痢 、重度下痢が再発 、進行性多巣性白質脳症 、PML 、意識障害 、認知障害 、麻痺症状 、片麻痺 、四肢麻痺 、言語障害

上記以外の副作用

筋痛 、関節痛 、脱毛 、口内炎 、舌炎 、めまい

©道繁 良＆JPHMA

ペンタサの副作用　フォント16

主な副作用

貧血 、皮膚そう痒感 、丘疹 、下痢 、腹痛 、血便 、下血 、アミラーゼ上昇 、嘔気 、腹部膨満感 、食欲不振

重大な副作用

間質性肺疾患 、好酸球性肺炎 、肺胞炎 、肺臓炎 、間質性肺炎 、発熱 、咳 、呼吸困難 、胸部X線異常 、心膜炎 、胸膜炎 、胸水 、胸部痛 、心電図異常 、間質性腎炎 、ネフローゼ症候群 、腎機能低下 、急性腎障害 、再生不良性貧血 、汎血球減少 、無顆粒球症 、肝機能障害 、AST上昇 、ALT上昇 、γ－GTP上昇 、中毒性表皮壊死融解症 、Toxic Epidermal Necrolysis 、TEN 、皮膚粘膜眼症候群 、Stevens－Johnson症候群 、薬剤性過敏症症候群 、発疹 、リンパ節腫脹 、白血球増加 、好酸球増多 、異型リンパ球出現 、遅発性の重篤な過敏症状 、ヒトヘルペスウイルス6再活性化 、HHV－6再活性化 、ウイルス再活性化 、心筋炎 、血小板減少症 、肝炎 、黄疸 、膵炎

上記以外の副作用

便秘 、口内炎 、Al－P上昇 、ビリルビン上昇 、肝機能異常 、クレアチニン上昇 、尿中NAG上昇 、尿中ミクログロブリン上昇 、尿蛋白 、腎機能異常 、白血球減少 、頭痛 、関節痛 、全身倦怠感 、脱毛 、舌の変色 、口腔内の変色 、胃内容物の変色 、便の変色 、舌の黒色変色 、口腔内の黒色変色 、胃内容物の黒色変色 、便の黒色変色 、むくみ 、末梢神経障害 、めまい 、頚部痛 、ループス様症候群 、CRP上昇 、紅斑 、蕁麻疹 、粘液便 、嘔吐 、尿着色 、浮腫 、筋肉痛 、CK上昇

ヒュミラの副作用　フォント7

主な副作用

鼻咽頭炎 、紅斑 、注射部位反応 、発疹 、上気道感染 、頭痛 、発熱 、咳嗽 、出血 、自己抗体陽性 、抗DNA抗体陽性

重大な副作用

敗血症 、肺炎 、重篤な感染症 、日和見感染 、結核 、播種性結核 、ループス様症候群 、間質性肺炎 、肺線維症 、呼吸困難 、呼吸器症状 、肺外結核 、胸膜結核 、リンパ節結核 、活動性結核 、脱髄疾患 、多発性硬化症 、視神経炎 、横断性脊髄炎 、ギラン・バレー症候群 、脱髄疾患悪化 、多発性硬化症悪化 、視神経炎悪化 、横断性脊髄炎悪化 、ギラン・バレー症候群悪化 、重篤なアレルギー反応 、アナフィラキシー 、重篤な血液障害 、汎血球減少症 、血球減少症 、血小板減少症 、白血球減少症 、顆粒球減少症 、再生不良性貧血 、劇症肝炎 、肝機能障害 、黄疸 、肝不全 、著しいAST上昇 、著しいALT上昇 、B型肝炎ウイルス再活性化

上記以外の副作用

抗核抗体陽性 、腫脹 、下痢 、肝酵素上昇 、皮膚そう痒症 、湿疹 、皮膚白癬感染 、硬結 、そう痒感 、乾癬 、関節炎 、潰瘍 、腸炎 、感染 、疼痛 、貧血 、不眠症 、回転性眩暈 、浮動性眩暈 、感覚減退 、脳出血 、脳梗塞 、味覚異常 、ラクナ梗塞 、神経痛 、健忘 、筋萎縮性側索硬化症 、脳虚血 、頚髄症 、頭蓋内動脈瘤 、頭蓋内圧上昇 、片頭痛 、腓骨神経麻痺 、神経根障害 、傾眠 、クモ膜下出血 、振戦 、三叉神経痛 、迷走神経障害 、不安障害 、譫妄 、摂食障害 、神経症 、良性神経鞘腫 、意識消失 、脳炎 、錯覚 、末梢性ニューロパチー 、気分変化 、体位性眩暈 、うつ病 、感情障害 、構音障害 、リンパ球数減少 、好酸球数増加 、白血球百分率数異常 、白血球数増加 、リンパ球形態異常 、血小板数増加 、リンパ節症 、リンパ節炎 、脾臓出血 、脾臓梗塞 、リンパ管炎 、リウマトイド因子増加 、RF増加 、血中β−D−グルカン増加 、リンパ球百分率異常 、リンパ球百分率増加 、単球数異常 、単球数百分率増加 、単球数百分率減少 、大小不同赤血球陽性 、赤血球連銭形成 、赤血球数増加 、好中球数増加 、血中免疫グロブリンE増加 、リンパ球数増加 、トロンビン・アンチトロンビン3複合体増加 、血中アミラーゼ増加 、血中トリプシン増加 、紫斑 、血中トリグリセリド上昇 、血中尿酸増加 、血中コレステロール上昇 、乳酸脱水素酵素上昇 、脱水 、LDH上昇 、体重増加 、高血糖 、CK上昇 、CPK上昇 、CRP上昇 、体重減少 、高脂血症 、糖尿病 、血中リン減少 、食欲不振 、血中アルブミン減少 、総蛋白増加 、血中カリウム減少 、血中カルシウム減少 、血中カルシウム増加 、血中クロル減少 、血中コレステロール減少 、血中ナトリウム減少 、血中トリグリセリド減少 、CK減少 、CPK減少 、総蛋白減少 、高カリウム血症 、痛風 、食欲亢進 、肥満 、低血糖 、血中マグネシウム増加 、血中リン増加 、グリコヘモグロビン増加 、結膜炎 、眼異常感 、異常感 、麦粒腫 、難聴 、中耳炎 、耳鳴 、眼瞼浮腫 、浮腫 、外耳炎 、白内障 、耳不快感 、耳出血 、結膜出血 、眼脂 、乾性角結膜炎 、乱視 、眼瞼炎 、霰粒腫 、複視 、角膜炎 、角膜症 、高眼圧症 、光視症 、網膜変性 、網膜静脈閉塞 、高血圧 、高血圧性網膜症 、強膜出血 、強膜炎 、真珠腫 、緑内障 、耳痛 、角膜損傷 、耳垢栓塞 、角膜糜爛 、眼出血 、硝子体浮遊物 、耳感染 、聴覚刺激検査異常 、流涙増加 、霧視 、一過性視力低下 、網膜出血 、眼圧上昇 、動悸 、期外収縮 、低血圧 、心房細動 、狭心症 、心弁膜疾患 、不整脈 、心房頻脈 、頻脈 、心不全 、心タンポナーデ 、心血管障害 、冠動脈疾患 、心室拡張 、左房拡張 、フィブリンDダイマー増加 、血栓性静脈炎 、静脈炎 、動脈硬化症 、ほてり 、不安定血圧 、末梢動脈瘤 、壊死性血管炎 、血管拡張 、急性心筋梗塞 、心電図異常 、レイノー現象 、インフルエンザ 、鼻炎 、鼻漏 、鼻閉 、慢性気管支炎 、喘息 、気管支肺炎 、喉頭気管気管支炎 、インフルエンザ性肺炎 、鼻出血 、特発性器質化肺炎 、発声障害 、中葉症候群 、咽頭紅斑 、くしゃみ 、気管支狭窄 、過換気 、胸水 、胸膜線維症 、胸膜炎 、気胸 、喘鳴 、声帯ポリープ 、百日咳 、喀血 、下気道炎症 、肺塞栓症 、扁桃肥大 、腹痛 、歯周病 、便秘 、悪心 、口内炎 、う歯 、嘔吐 、胃炎 、口唇炎 、腹部膨満 、口腔ヘルペス 、イレウス 、胃不快感 、ウイルス性胃腸炎 、痔核 、食道炎 、歯痛 、歯知覚過敏 、胃潰瘍 、口腔カンジダ症 、口内乾燥 、消化不良 、歯肉腫脹 、腹部不快感 、腹部腫瘤 、腫瘤 、痔瘻 、結腸ポリープ 、腸憩室 、十二指腸潰瘍 、十二指腸炎 、心窩部不快感 、胃ポリープ 、消化管アミロイドーシス 、胃腸出血 、歯肉形成不全 、歯肉痛 、舌痛 、口の感覚鈍麻 、過敏性腸症候群 、食道潰瘍 、腹膜炎 、肛門周囲痛 、顎下腺腫大 、舌苔 、歯の脱落 、食道静脈瘤 、腹部膿瘍 、胃腸感染 、ヘリコバクター感染 、耳下腺炎 、歯膿瘍 、歯感染 、血便 、便通不規則 、歯不快感 、口唇乾燥 、耳下腺腫大 、舌腫脹 、歯の障害 、カンピロバクター腸感染 、肛門周囲膿瘍 、歯髄炎 、膵臓良性新生物 、腸管穿孔 、肛門性器疣贅 、肛門狭窄 、横隔膜下膿瘍 、瘢痕ヘルニア 、鼡径ヘルニア 、胃酸過多 、膵腫大 、急性膵炎 、直腸腺腫 、胃腸異形成 、口唇痛 、唾液腺炎 、脂肪肝 、血中ビリルビン増加 、胆石症 、アルコール性肝疾患 、原発性胆汁性肝硬変 、胆嚢ポリープ 、肝臓うっ血 、肝機能検査値異常 、Al−P減少 、胆嚢炎 、胆管炎 、蕁麻疹 、毛包炎 、皮膚炎 、接触性皮膚炎 、アレルギー性皮膚炎 、皮膚真菌感染 、真菌感染 、皮膚乳頭腫 、帯状疱疹 、ざ瘡 、皮下出血 、脱毛症 、爪囲炎 、皮膚潰瘍 、皮膚乾燥 、皮膚過角化 、皮下組織膿瘍 、感染性表皮嚢胞 、伝染性軟属腫 、皮膚細菌感染 、細菌感染 、手足口病 、膿痂疹 、膿皮症 、挫傷 、結核菌皮膚テスト陽性 、メラノサイト性母斑 、脂漏 、脂漏性角化症 、脂肪腫 、黄色腫 、紅色汗疹 、ヘノッホ・シェンライン紫斑病 、膿疱性乾癬 、多汗症 、嵌入爪 、皮膚水疱 、褥瘡性潰瘍 、皮膚嚢腫 、発汗障害 、皮膚疼痛 、光線過敏性反応 、皮膚糜爛 、皮膚剥脱 、皮膚硬結 、顔面腫脹 、乾皮症 、黄色爪症候群 、せつ 、冷汗 、面皰 、皮膚エリテマトーデス 、痂皮 、皮膚小結節 、肉芽腫 、肥厚性瘢痕 、多形紅斑 、爪障害 、口唇色素沈着 、禿瘡 、背部痛 、関節痛 、骨折 、四肢痛 、筋痛 、骨粗鬆症 、滑液嚢腫 、腱断裂 、骨密度減少 、筋骨格硬直 、変形性脊椎炎 、関節破壊 、筋骨格系胸痛 、胸痛 、筋骨格痛 、環軸椎不安定 、鼡径部腫瘤 、椎間板突出 、関節腫脹 、四肢不快感 、腰部脊椎管狭窄 、筋痙縮 、筋力低下 、頚部痛 、骨関節炎 、肩回旋筋腱板症候群 、筋肉減少症 、関節障害 、四肢結節 、脊椎すべり症 、臀部痛 、椎間板変性症 、関節周囲炎 、肩痛 、椎間板炎 、関節捻挫 、頚部腫瘤 、筋炎 、手根管症候群 、滑液包炎 、ミオパシー 、骨壊死 、甲状腺腫 、甲状腺機能亢進症 、血中ヒト絨毛性ゴナドトロピン増加 、甲状腺機能低下症 、副腎腺腫 、クッシング様症状 、血尿 、膀胱炎 、女性生殖器系感染 、蛋白尿 、尿沈渣陽性 、血中尿素増加 、尿中白血球エステラーゼ陽性 、尿中ブドウ糖陽性 、尿中ケトン体陽性 、尿中細菌検出 、夜間頻尿 、頻尿 、不正子宮出血 、腎結石 、尿路結石 、腎膿瘍 、血中クレアチニン増加 、子宮平滑筋腫 、腎機能障害 、慢性腎不全 、水腎症 、腎梗塞 、腺筋症 、性器出血 、月経過多 、前立腺炎 、陰部そう痒症 、膣分泌物 、尿pH上昇 、陰嚢水瘤 、尖圭コンジローマ 、淋疾 、尿道炎 、尿中結晶陽性 、排尿困難 、尿意切迫 、腎血管障害 、良性前立腺肥大症 、精巣上体炎 、膣腫脹 、前立腺特異性抗原増加 、緊張性膀胱 、無月経 、不規則月経 、閉経期症状 、倦怠感 、季節性アレルギー 、単純ヘルペス感染 、胸部不快感 、ウイルス感染 、悪寒 、冷感 、化膿 、口渇 、疲労 、顔面浮腫 、熱感 、低体温 、治癒不良 、異物感 、食物アレルギー 、抗酸性桿菌感染 、クリプトコッカス症 、転倒 、背部損傷 、創腐敗 、CT異常 、胸部X線異常 、免疫学的検査異常 、全身性エリテマトーデス 、線維腺腫 、乳房良性新生物 、乳房痛 、乳頭痛 、側腹部痛 、腋窩痛 、圧迫感 、金属アレルギー 、大腸菌感染 、無力症 、成長遅延 、大腸炎 、肝炎 、気分障害 、神経過敏 、激越 、落ち着きのなさ 、神経感覚障害 、錯感覚 、睡眠障害 、特発性血小板減少性紫斑病 、ITP 、APTT延長 、眼刺激 、眼炎症 、視覚障害 、眼球感覚障害 、全眼球炎 、虹彩炎 、耳介腫脹 、耳そう痒症 、心停止 、冠動脈不全 、心嚢液貯留 、血腫 、血管閉塞 、大動脈狭窄 、大動脈瘤 、肺水腫 、咽頭浮腫 、憩室炎 、口腔内潰瘍 、直腸出血 、小腸炎 、肝壊死 、B型肝炎再燃 、血管浮腫 、斑状出血 、脂肪織炎 、血管神経性浮腫 、皮膚血管炎 、横紋筋融解症 、甲状腺障害 、膀胱症状 、尿道症状 、腎臓痛 、月経周期障害 、インフルエンザ様疾患 、サルコイドーシス

©道繁 良＆JPHMA

初回相談会　2023年9月23日

- 身長151cm　体重30kg　ローレル指数87
  標準体重－14．8kg
- 免疫抑制剤による感染リスクから結核、B型肝炎、HPVワクチンなどを勧められたが断った
- 全身麻酔2回（内視鏡検査、完全栄養点滴中心静脈カテーテル）
- 体調が安定せず学校はあまり行けていない
- やせている顔を笑われるなど、いじめもあり学校は楽しくない

初回相談会　2023年9月23日

- 退院後も腹痛、鼓腸、下痢が続いている
  年中下痢、たいてい朝、痛みはなく、すっきりしない感じ
- 背中（腰・肩甲骨）に虫が歩くような痒み（副作用？）
  →暑さ・風呂あがり・汗をかくと悪化

など、

現在と入院前の症状を聞き取りレパートライズを行った。

初回 TBR

241#　内腹部

303#　胃(およびその部位)

1637#　潰瘍 – 炎症を起こした

1040#　狭窄

423#　無痛性の下痢

992#　頭の脱毛

1528#　痒み – 虫などがはうような・むずむずする感覚

1948#　発汗の間 悪化

2130#　締め切った部屋の中で悪化

初回TBR

順位	レメディー	出現回数	点数合計	1	2	3	4	5	6	7	8	9
1	Ars.	9	30	3	4	4	2	4	3	2	4	4
2	Sep.	9	25	4	3	1	2	1	3	4	4	3
3	Calc.	9	22	3	4	2	2	2	3	2	2	2
4	Sulf.	8	27	4	4	2	2	3	4	4	4	
5	Puls.	8	27	4	4	3	3	2		4	3	4
6	Rhus.	8	26	4	3	3	4	2	2	4	4	
7	Merc.	8	25	3	2	4	4	2	3	3	4	

©道繁 良＆JPHMA

初回レメディー

朝・夕　　**MT)サポート腸**

※Ashitak-w.　人から認められない悲しみを癒す
※Onkokin　腸内細菌の戦いを仲裁
※Nux-v.　薬の影響
※Sulf.　腸の解毒・免疫↑・朝の下痢

夜　アルポ） Ars LM01　潰瘍・血便・破壊的病理

©道繁 良＆JPHMA

食養生

- 梅干し　　殺菌・腸内細菌のバランス改善
- 深海塩　　下痢で失われた電解質

©道繁 良＆JPHMA

初回相談会後の変化

- ３８℃台の熱が2日ほど続いた
- 年中下痢だったのが週２～３回に減った
- 便が出ない／硬い便の日が週１日くらいある

©道繁 良＆JPHMA

２回目～6回目相談会

その後も MT）サポート を軸に

- その時に浮上している問題と症状
- 薬の副作用を軽減
- 体重増加・体力回復につながる食養生

へのアプローチを心掛けた

免疫抑制剤の影響？

途中、インフルエンザのような症状後、2週間くらい咳が止まらず体調が回復しないと連絡あり

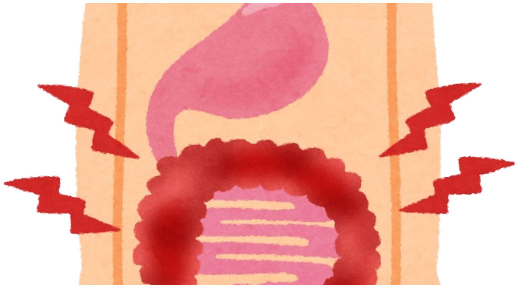
MT）サポート免疫スーパーグレート

MT）サポート肺

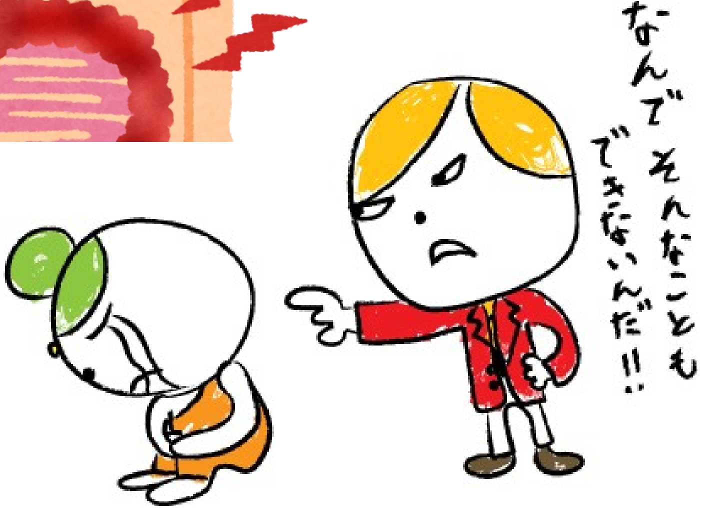
で速やかに回復

©道繁 良＆JPHMA

クローン病（自己免疫性疾患）のテーマ



- 炎症＝戦い
- 自分が自分を攻撃
- 小腸＝「命の源」に
  炎症があることから
  深い自己否定が伺える



祝詞心経・斎食儀・真言の諷誦

- この社会における「できる」・「できない」という『この世的価値観』で自分を裁く生き方を離れ、自然（神）の価値観に転換できるよう　祝詞心経

- 食物に感謝し、しっかり栄養吸収できるよう　斎食儀

- 排泄の問題として、あらゆる不浄なものを焼き払ってくれるトイレの神として信仰される烏枢沙摩明王のご真言

烏枢沙摩明王の真言

「印と真言の本」学研より引用

オン クロダノウ
ウンジャク ソワカ

©道繁 良＆JPHMA

御古菌で腸内環境を平和に

- 腸内細菌を回復
- 私たちの思考は腸内細菌の状態に左右されている
- 土壌菌は自然の価値観で生きている
- 酪酸菌は菌同士の仲裁役
- この世的価値観による戦いを終わらせてくれる

インチャ癒しによる
視点（価値観）の変換

- 病気で普通の子と同じようにできない
  自分はダメと自分を責める思い

- こんな大きな病気を抱えながら普通の子と同じように学校に行き、学ぼうと努力している。
- **普通の子よりも大きなチャレンジを必死で頑張っている。**
- 辛くて行けない日があってもそれは負けじゃない。
- いっぱい頑張ったら、いっぱい休まないといけない。

インチャ癒しによる
視点（価値観）の変換

- クライアントは母に自分の頑張りが解ってもらえた安堵の表情を浮かべ、肩の荷が下りたように見えた。
- 「今まで見えていなかった視点で娘をみることができ、認められるようになりました。注射や食事制限も頑張り、学校にも通っていて娘は本当にすごいです。」と後で母からメッセージが届いた。

©道繁 良＆JPHMA

私たちZENホメオパスがしようとしていることは

「愛されなければならない」、「優れなければならない」、「勝たなければならない」という『この世的価値観』で

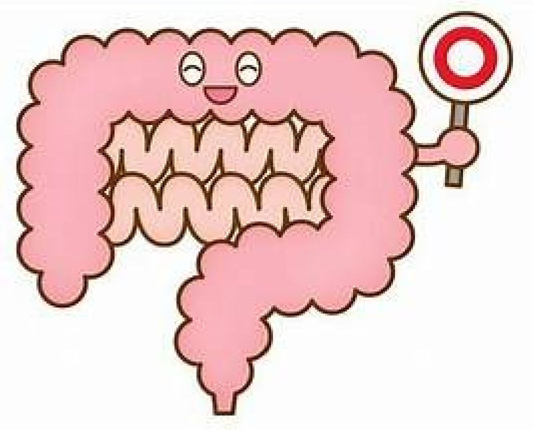
自分の存在価値を他者の評価にゆだねる生き方を離れ、「もうすでに愛されている」、「自分には価値がある」、「みんな仲間である」という自然（神）の価値観で生きるところへクライアントを導くこと。

その結果として病気はおのずと治るだろう･･･

なぜなら病気は本来の生き方から外れていることを伝える神（自然）からの贈り物であるから。

©道繁 良＆JPHMA

経過



- 血便は潜血も検出されなくなった
- ほぼ毎日普通の便になった
- クローン病の腹痛なし
- 鼓腸なし
- 血液検査問題なし（医師）
- 食欲もしっかりある
- ５回目相談会からローレル指数の区分が「やせすぎ」から「やせぎみ」へ移行

経過

相談会	日付	身長 cm	体重 kg	ローレル 指数	標準体重 kg	分類
	入院時	151	25	73	−19.8	やせすぎ
1回目	2023/9/23	151	30	87	−14.8	やせすぎ
2回目	2023/11/13	153	34	95	-12.6	やせすぎ
4回目	2024/3/29	156	36	95	-13.4	やせすぎ
5回目	2024/5/17	156.5	38.5	100	-11.3	やせぎみ
6回目	2024/6/29	157	41.3	107	−9	やせぎみ
7回目	2024/8/23	157.4	40	103	−10.7	やせぎみ

©道繁 良＆JPHMA

月経が初まる

２０２４年５月（１４歳）から月経が初まった。
８月の相談会時も順調に毎月あると報告。
体力がついてきている目安となる。

3度目の全身麻酔

- 2024年7月　内視鏡検査

- 全身麻酔の負担は大きく、無事乗り切れるようあらゆる禍から守ってくれるといわれる
「光明真言」を提案

- 麻酔から速やかに回復するため
MT）サポート冷え・視床下部

光明真言

オン　アボキャ
ベイロシャノウ
マカボダラ　マニ
ハンドマ　ジンバラ
ハラバリタヤ　ウン

「印と真言の本」学研より引用

検査前日

©道繁 良＆JPHMA

8月の相談会（7回目）での報告

内視鏡検査の結果、腸壁に炎症個所は認められず
血管も綺麗、医学的寛解の報告を受けた。

©道繁 良＆JPHMA

考察

- 死ぬと思ったというほど痛みがひどく、命が危険なところまで体重も減少していた。そのような自己治癒力での回復を期待できない深刻な状況も命をつなぎとめてくれる現代医学の力は真に素晴らしい。

- 本ケースは医療と併用であるためホメオパシーの効果を証明することはできない。しかしクライアントが医療と共にホメオパシーを希望され、クローン病が寛解し、今も元気に生活している事実だけでうれしい。

クライアントの母より ①

「一年前の状態と全然違い、改善傾向にあることが

とてもうれしいです。薬と併用していますが、薬のみでは、ここまでの状態にはなっていないと思います。」

この言葉だけで、またホメオパスを続けていく

エネルギーが湧いてきます！

クライアントの母より ②

「前回の相談会の後、ヒュミラを止める事にし
９月は全く打っていません。血液検査の結果は
１０月に出ますが、特別、お腹の調子が悪くなったり
はしていません。

今日は体育祭があり、帰ってきて撮った写真です。

食欲もあり、安心してみられる体つきになってきたと
思います（安心した）。

御古菌も毎朝ジュースに混ぜて飲んでいます。」

©道繁 良＆JPHMA

2024年9月27日

身長　158.5㎝
体重　41～42kg
ローレル指数105
標準体重-9.8kg

あと4kgで「普通」

新しい挑戦

安全な状態に回復するまで医療の力をお借りし、
これから薬が無くても炎症が起きない「完治」を
目指して新たな挑戦が始まりました。

クライアントの勇気ある選択を
今後も全力でサポートしていきます！

©道繁 良＆JPHMA

ご清聴ありがとうございました